

多様な「働き方改革」を成功させるための実践ノウハウ

戦略思考・問題解決

「仕事の見える化」による 残業ゼロの具体策

仕事の属人化、孤立化を打破して、多様な就業環境の中でも一人ひとりの負担を軽減し、チーム力を高め、残業させず、チーム生産性を高めるためのしかけと改善について、事例と共に具体的な取り組み方法を紹介합니다

セミナーのねらい

労働力人口の減少や人材不足対策として、多様な人材を活用するための「働き方改革」が叫ばれ、様々な就業環境の準備と労務管理制度の構築が進められています。

一方で、このような多様な就業環境（時短やフレックス、在宅勤務）の提供が、働く者の孤立化を招くことが危惧されています。働く者の孤立化は、残業の「見えない化」を招き、仕事の個人化を加速してチーム力を低下させかねません。

「働き方改革」を進める中で、このような仕事の属人化、孤立化への対策といった働き手のための取り組みが後回しになったり、責任が個人に押しつけられたりしていないでしょうか。

本講座では、仕事の属人化、孤立化を打破して、多様な就業環境の中でも一人ひとりの負担を軽減し、チーム力を高め、残業させず、チーム生産性を高めるためのしかけと改善について、事例と共に具体的な取り組み方法を紹介합니다。「働き方改革」が個人の負担を重くし、チーム生産性を低下させる改悪の施策とならないように、これらしかけと改善を同時に進めることをお勧めします。

松井 順一 氏

コンサルソーシング株式会社代表取締役

システムアナリスト、情報システム監査技術者、中小企業診断士。アイシン精機株式会社にてABS等の新製品開発に従事。微小洩れ測定法開発にて科学技術庁長官賞を受賞。その後、社団法人中部産業連盟、大手コンサルティング株式会社、現職にて工場改善・管理間接・開発業務改善、5S、目で見える管理、経営戦略のコンサルティングを行う。著書に『仕事のミスをなくす99のしかけ』『仕事の「見える化」99のしかけ』（日本能率協会マネジメントセンター）、『職場の「かんぱん方式」2-トヨタ式人づくり改善塾』（日経BP社）など。



プログラム

- 働き方を取り巻く環境と問題点
- 残業が多くチーム生産性が高まらない理由
- 多様な就業環境でも個人を孤立させずチーム力を高めるしかけ
- 仕事の2S（整理・整頓）改善で仕事量を減らすしかけ
- 仕事の見える化改善でチーム生産性を高めるしかけ

日 時

2019年11月28日（木）
10:00～17:00

会 場

日本経済新聞社6階
「日経・大手町セミナールーム1」
（日経カンファレンス&セミナールーム内）

受講料

38,500円（税込み）

対象者

マネージャー、リーダー、次世代幹部、部長、課長、中堅、若手、事業部長

レベル

基礎